



か ん ご

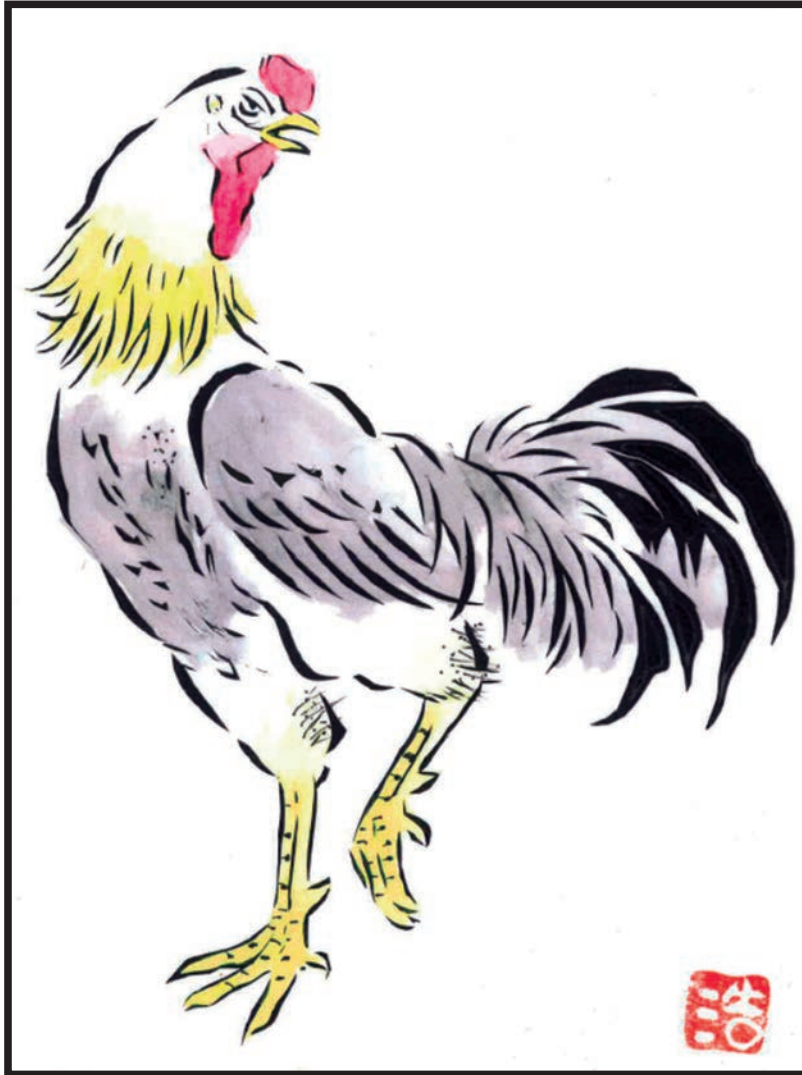
れんめい大分

平成29年1月15日発行

第58号

大分県看護連盟メールアドレス
E-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.renmei-oita.com/>

発行所：大分県看護連盟 大分市豊饒310番地の4 大分県看護研修会館 TEL 097-574-7088
発行人：安東 和代 編集者：広報委員会 印刷所：(株)インタープリント TEL 097-568-8123



森 浩司さんの切絵より



明けまして
おめでとうございませす

平成二十九年



ホームページの「お問い合わせ」をぜひご利用ください!!

質問やお問い合わせ、会員変更等も受け付けています。

パソコン…右上にある「お問い合わせ」⇒内容記入⇒送信

スマートフォン…右上の「メニュー」⇒「お問い合わせ」⇒内容記入⇒送信



大分県看護連盟の情報
をスマートフォン
からでもご確認いた
だけませす。



もくじ	ごあいさつ	2~4
	第24回参議院議員選挙のアンケート結果 (第1回報告)	5
	会議・研修会等の報告	6~8
	ポリナビワークショップ等	9
	行事予定	10

平成28年度

大分県看護連盟会員数

◆連盟会員 3,508名

*特別会員3名含む

◆賛助会員 43名

平成28年12月現在

ごあいさつ

明けましておめでとうございます

昨年は選挙の年で、何かとお世話様になりました。
本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



大分県看護連盟
会長 安東 和代

今回の参議院議員選挙は、3500余名の会員で組織している大分県看護連盟ですが、大分県のたかがい議員の得票数が3040票でした。(会員の87%になります)せめて会員数の得票は得たいと、ご支援・ご協力をお願いし、選挙を戦って来ましたが課題を残す結果となりました。

看護の現場を良くしていくためには、国政の場に看護職の代表が絶対に必要です。それも上位の当選で送る必要があります。(自民党比例区当選者19人中11位でした)上位で当選しなければ、重要な委員会に入れず、また、重要な役を担うことも難しくなります。

「あの人に頼めば〇〇票は出してくれるよ」という“選挙の出来る会員”を増やすことが、確実な得票に結び付くために必要と言われております。次回の選挙まで連盟会員の増と共に、“選挙の出来る会員”を増やしていくことが課題だと思っております。

昨年10月27日の臨時都道府県会長会で、次回の第25回参議院議員選挙の候補予定者の決定を一年前倒しで、平成29年度の日本看護連盟通常総会で決定することが決まりました。これまでより一年早く動き始めることとなります。

みなさま方には、またご支援・ご協力をお願いすることになりますが、何卒よろしく願います。

みなさま方のますますのご活躍をご祈念申し上げます。



開かれた楽しい連盟活動を目指して

第24回参議院選も無事終了し、新春を迎えました。決意を新たに、会員のみなさまと一丸となって、次の目標に向かってがんばってまいりましょう。

日本のこれからの「予防し、治し、支える」保健医療介護を担っていくのは看護職です。看護職が、安心して、明るく、プライドをもって活躍できることが、県民、国民のみなさまによりよい医療介護を提供できる原動力になります。このためには、看護が抱える課題(看護政策)の実現に向けて組織的に活動していく、看護連盟の「組織の力」の強化が不可欠です。

連盟のスローガンは、「ベッドサイドから政治を変える」です。連盟の活動は、会員のみなさまの、「発言」「働き掛け」からスタートします。「待ちの姿勢」ではなく、会員のみなさまの一人ひとりの前向きな積極的な行動が、看護政策実現に結びつくと信じて、連盟活動を楽しんでまいりましょう。



日本看護連盟
会長 草間 朋子



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、たかがい議員の再選を果たすことができました。今後は議員として力が発揮できますように大分からしっかり応援していきましょう。

さて、地域包括ケアの推進、在宅医療が推進され、在宅領域の看護職員の確保は喫緊の課題となっています。そこで大分県看護協会では「プラチナナース生き生きプロジェクト」を昨年6月から開始しています。定年退職前後の看護職の方に在宅領域で自分の高い実践能力を発揮していただきたいという事業です。ワークシェア等の働き方の工夫でワークライフバランスをとりつつ免許を活かして生き生きと活躍していただきたいと思います。本年もご支援ご協力をお願い致します。



大分県看護協会
会長 竹中 愛子

謹賀新年

丁酉の2017年は、直感力と行動力を磨いて運氣を取り込み‘いのち(人生)の実り’について、改めて考えたいと思っています。

ひとの生きる力を守り支える看護のパワーを存分に活かせる社会づくりを進めたい。そのため今、私たちは自らの知識・技術・経験を総動員して、諸般の労働法制の改革に取り組んでいかなければなりません。これからの数年間は、従来の予想を超える多様な医療需要の増加と供給市場の拡大が急速に進むと見込まれます。変化を座して待つのではなく、プロの目利きで時代を先取りする攻めの姿勢で挑みたいものです。

また、2015年に始動した我が国の女性の健康科学については、十分な学術基盤が醸成されるように、2016年に始動した「幸齢社会への挑戦 ‘ハッピープラチナ運動’」は、順調に各所での事業が充実するように、引き続き力を注いで参ります。さらに2期連続の自民党女性局長として、7つの重点政策の一層の推進と女性議員の育成と政治力向上の体制整備にも取り組みます。本年も、看護職の誇りを胸に鋭意努力する所存です。みなさまのますますのご繁栄を心よりご祈念申し上げます。



参議院議員
たかがい 恵美子



大分県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。

平成29年が皆様にとってすばらしき一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

2017年の干支は丁酉(ひのととり)となります。酉年の“酉(ゆう)”は、「酒」という字のつくりになっているように、収穫した作物から酒を作る、「実る」という意味もあるのだそうです。実りある年になるよう今年も精進して参ります。

通常国会においては、引き続き社会保障制度改革の議論が進められていきます。

2018年の診療報酬、介護報酬同時改定に向け、今年は大きな山場を迎える年です。地域包括ケアの中心的役割を期待されている私たち看護職が「良い看護ができた」と実感出来るよう皆様の声を国政に反映して参ります。皆様とともに手を携え歩んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



参議院議員
石田 昌宏



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

大分県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は熊本地方で発生した地震により、被災にあわれた方もおられ、大変な年であったと拝察いたします。その復興の最中に行われた参議院選挙では、たかがい議員が2期目の当選を果たし、全国の看護連盟の皆様のお力を実感した年でもありました。

私自身は、新たに自由民主党副幹事長に就かせていただくこととなり、国会内では厚生労働委員会の委員を再び拝命いたしました。

現在、来るべき法改正に向けて、医療や看護の様々な問題解決のため、議論を進めております。これからの超高齢社会を支えるためには、看護職の皆様の大きな力が必要です。その皆様が働きやすく、やりがいをもって看護できることを心から願うとともに、看護がさらにより良く発展していくためのお役に立てるよう、全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員
あべ 俊子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

初当選から2年、看護の視点を軸にさまざまな法案に関わってまいりました。中でも臨時国会で成立した特別養子縁組のあっせんに関する法案は、議員立法作成・成立の過程を勉強させていただき、障がい者総合支援法の改正では、医療的ケア児とご家族を教育・医療・福祉が連携して支援する体制の構築に力を注ぎました。

3月には、稲田朋美先生からの推薦により待機児童問題等緊急対策特命チームの座長に就任。ここまで来られたのも、看護職の先輩議員や連盟会員の皆さまのご指導があってこそです。これからも現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映してまいります。そして、光の当たらぬところにあたたかな光を当てていく政治家でありたいと思っています。

最後になりましたが、京都三区(京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町)にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひ木村の紹介をお願いいたします。

本年もよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員
木村 弥生



第1副会長
高橋 多佳子

明けましておめでとうございます。

いよいよ酉年がスタートを切りました。早くも翼を広げながら羽ばたきを始めた方もいらっしゃると思います。

先ずは昨夏の参議院選でのご支援とご協力に対して衷心よりお礼を申し上げます。

連日の暑さの中熱く燃えて戦ってくださった会員の皆様のエネルギーに支えられた日々でした。

ところで、私も連盟役員としての任期も残り少なくなりました。残任期間を悔いのないものにする為にも老骨に鞭打って任務に励みたいと思います。

会員の皆さま方の更なるご支援を願いつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

一年間よろしく願い申し上げます。 平成29年初春



新年あけましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年7月の第24回参議院議員選挙では、猛暑の中皆様の熱い情熱により、高階恵美子氏を2期目の国政の場に送り出すことが出来ました。これも一重に皆さま方のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

2期目の当選を果たされた高階議員は、引き続き党の女性局長として重要な課題に取り組まれております。看護の代表としてますますのご活躍を期待しております。

私達連盟会員は、看護の代表を国政の場に送り出すため、一人でも多くの連盟の仲間を増やす努力をしていくことが大切です。選挙年齢が18歳以上に引き下げられた今、若い看護職を対象に連盟の役割と必要性を伝え、連盟仲間の輪を広げることに取り組んでいきましょう。今年もどうぞよろしく願いいたします。



第2副会長
藤澤 キクノ



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

連盟の幹事長として3年目を走っています。役員として関わった、初めての参議院選挙は多くの方に支えられながら無事乗り越えることが出来ました。心より感謝申し上げます。あれこれと悩んでいるうちに次の選挙に向け連盟は走り出そうとしています。会員の皆様が、納得のいく連盟活動を発信していかなければなりません。多くの先輩・役員・施設連絡員・病棟連絡員を通して活動を学び、連盟が身近にあり看護政策が実現することで看護職の心豊かな活躍の場が皆様に届くようにしていきましょう。看護協会員であり、看護連盟会員である私たちは、常に患者さんに寄り添い現場の声から、職場環境を良くしていくこと、常に自分が看護職としてモチベーション高く社会に貢献するという使命を持っていくことを新年にあたり考えさせられています。

どうぞ今年一年看護連盟がますます発展していきますよう皆様の支援を賜りたく新年のごあいさつとさせていただきます。



幹事長
安藤 絹枝



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、九州ポリナビワークショップ in 大分が開催され、皆様のご協力のおかげで、大盛況に会を行うことができました。また、第24回参議院議員通常選挙も行われ、たかがい恵美子先生が再選との嬉しいニュースもあり、大分看護連盟の青年部一同、とても充実した1年であったと感じています。

さて、新しい年を迎え、2025年を見据えた社会保障制度改革の動きがさらに進み、看護を取り巻く環境の変化、看護師が担う分野の拡大、それに伴い、私たち看護職がこれから求められることが増えてきました。大分看護連盟青年部の一員として、今まで以上に奮起し、先ずは、大分県の若手看護職を盛り上げていくことを目標に、青年部の活動を行いたいと考えています。本年も変わらぬご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。



青年部 Nurse-ful 委員会
委員長 藤野 圭一郎

第24回参議院議員選挙のアンケート結果（第1回報告）

I 年代別人数

年齢 人数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
	1	15	20	40	55	24	155

II 看護職の代表が立候補していたのを知っていたか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
知っていた	1	14	19	40	55	24	153
知らなかった	0	1	1	0	0	0	2

III 看護職の代表(たかがい恵美子)の名前を知っていたか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
知っていた	1	14	17	40	55	24	151
知らなかった	0	1	3	0	0	0	4

※名前を何で知ったか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
ポスター	1	8	10	17	36	17	89
選挙ハガキ	0	3	3	10	17	14	47
電話作戦	0	0	2	2	4	9	17
選挙カー	0	0	2	1	7	10	20
インターネット	0	0	3	1	3	4	11
連盟の研修会・集会	0	8	10	23	51	18	110
連盟の役員	0	5	4	13	29	14	65
アンフィニ	0	13	11	25	34	19	102
れんめい大分	0	3	8	19	31	18	79
その他	1	2	0	1	2	1	7

IV 7月10日の参議院選挙は投票しましたか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
期日前投票	0	7	7	14	24	12	64
当日投票した	1	6	7	25	29	12	80
投票しなかった	0	2	6	1	2	0	11

V 比例代表の投票は、次のどれを書いたか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
候補者名	1	12	12	39	50	22	136
政党名	0	1	2	2	3	2	10

VI Vの「候補者名」は、たかがい恵美子に投票したか

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
投票した	1	11	14	36	47	22	131
投票しなかった	0	1	0	1	3	0	5

10月23日開催の「リーダーセミナー」「会員研修会」出席者へのアンケート結果より

- ・対象がリーダー・施設代表者・管理者が多く、看護連盟の活動をしている点から結果に偏りがあることが考えられる。
 - ・たかがい議員の選挙から6年が経過し、若い世代は、たかがい議員の名前を知らない人もいる。
 - ・対象者は少ないが、7%にあたる人は投票に行かず、4%の人は投票に行ったが、たかがい議員に投票していない。
- ※これからも機会あるごとに同じアンケートを多くの会員にお願いする予定です。

医療関係者の投票行動は？

参議院選挙

医療関係団体の獲得票数の結果から

第24回参議院選の医療関係団体の獲得票数

H28.8.29

- ・医療・コメディカルが多く立候補しており支援が減った。
- ・多くの医療関係団体が、会員に対する割合・会員一人当たりの得票数も会員数以上の得票結果を得ており、看護連盟のみが低い。
- ・150万を越す看護職の就業者数に対し一割程度の得票結果であった。
- ・他部門のコメディカルが待遇改善など職場を良くしようと、組織で動き出した。

		得票数	会員数(人)	会員に対する割合(%)	会員一人当たり得票数	就業者数(人)	就業者数に対する割合
日本看護連盟	高階 恵美子	177,810	* 199,098	89.3	0.9	1,537,813	0.12
日本医師連盟	自見 英子	210,562	164,607	127.9	1.3	303,268	0.69
薬剤師会	藤井 基之	142,132	約 100,000	142.1	1.4	280,052	0.51
理学療法士会	小川 克巳	130,101	約 100,000	130.1	1.3		
臨床検査技師会	宮島 喜文	122,833	約 60,000	204.7	2.0		
社会福祉法人	園田 修光	101,217					
診療放射線技師会	畦元 将吾	68,147					

*平成28年7月会員数

*就業者数は平成24年12月31日現在

日本看護連盟

会議・研修会等の報告

平成28年度第2回全国会長・幹事長・支部長合同会議

日 時：平成28年10月27日(木) 14:00～16:00

会 場：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」

参加者：765名 ※大分県より14名参加
(会長・幹事長・支部長12名)



大分県より14名が参加しました



新役員で開催された合同会議

6月14日に第1回の合同会議が開催され、選挙戦の極意を学び7月10日の第24回参議院議員選挙を戦った。その結果を受け総括のため第2回の合同会議が開催された。

現在実施している県別会議が全て終了したのち、選挙戦略から結果に対する最終総括をする予定との報告があった。第24回参議院議員選挙総括について、どうすれば選挙に行くのか、看護協会との連携が必要だ、スケジュールの問題(候補予定者の選考スケジュールを前倒しする)、確実な名簿(投票行動を確認することができる人)を次回も集めるか、本部 県連盟 支部の協力体制が必要だ等、各県の出席者から多くの意見が出された。また、第25回参議院議員選挙に向けての要望も出され、白熱した会議となった。

あべ俊子国政報告会

日 時：平成28年10月27日(木) 12:00～13:00

会 場：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」

参加者：約400名 ※大分県より5名参加



熱心に講演されるあべ先生



草間会長のあいさつ

塩崎恭久厚生労働大臣がお祝いの挨拶であべ俊子先生のパワフルな活躍ぶりを披露し、TPP委員会に出席すると急ぎ退席した。前厚生労働大臣の田村憲久衆議院議員の特別講演があり、今後抱える超高齢福祉社会での看護職の働き方について、今後の医療のあり方について等看護職の政策に関する話があった。あべ俊子議員は、これから看護師はもっと患者のそばにいる時間を作るべきであり、看護環境を変えるために記録について考え、法律を変えていくと意気込みを語った。

平成28年度ブロック別看護管理者等政策セミナー

日 時：平成28年11月26日(土)～27日(日)

会 場：ホテルセントラーザ博多(福岡)

参加者：48名(大分県より4名参加)

担当県：熊本県



グループワークでの発表



熱心に講師のお話を聞く参加者

大分県立病院 看護部副部長 河野 伸子

看護管理者等政策セミナーに参加する機会を得た。今回で3回目となるセミナーは、①連盟活動を理解し組織強化、拡大を図る ②現場の問題を的確に政策課題として捉え、解決に結びつけるための政策提言が出来ることを目的に開催された。

看護連盟における看護管理者の役割について、熊本県と佐賀県の活動の報告があった。私の所属する施設では、新規会員の獲得に課題があり対協会員比率100%の施設に驚いた。また働きやすい環境を整える上で、看護職の代表が国会での発言権をいかに得るかを、わかりやすく伝えることの大切さを再認識できた。病院機能分化が進み地域包括ケアにおける政策が重要な課題である中、地域で開業し、外来や往診もしながら市議会議員をしている講師の講演は特に印象に残った。住み慣れた家でできるだけ健やかに暮らしていけるような医療と介護の連携、生活支援の充実、介護予防の充実等課題が出され、グループワークでは、看護連盟への理解は教育現場における関わり方や経営主体の違い、また、医師や管理者の方針の違いも影響することがわかった。時間を忘れるほどの討議を経験できた。今後は、視野を広く持ち、現場の動向を声に出し、働きやすい職場へ変えていきたい。この研修体験を今後の看護管理活動に生かしていきたい。

平成28年度リーダー(支部幹事・施設連絡員・病棟連絡員)セミナー

日時：平成28年10月23日(日) 9:00~16:00
 会場：大分県看護研修会館 2F 第1研修室
 参加者：121名



グループワークでの発表



大分県看護協会
会長 竹中 愛子



大分県立病院
小川 央



大分県看護連盟
会長 安東 和代



大分県看護連盟
幹事長 安藤 絹枝

プログラム

- ・「大分県看護協会の取り組み」 大分県看護協会 会長 竹中 愛子
- ・「看護連盟について」 大分県立病院 小川 央
- ・「大分県看護連盟について」 大分県看護連盟 会長 安東 和代
- ・「大分県看護連盟支部の役割」 大分県看護連盟 幹事長 安藤 絹枝
- ・グループワーク 「会員への情報伝達の現状と対策」
- ・特別講演 演題：「看護職の役割拡大」
 講師：日本看護連盟 会長 草間 朋子
 (特別講演は、会員研修会と合同で開催)

リーダーセミナーに参加して

豊肥保健所 山本 八重美

グループワークは、8人のうち6人が保健師であったが、活発な意見交換ができた。どこの施設も看護連盟を知らない、メリットがないと考えていると課題が上がった。ではどうすれば看護連盟の活動が届くのか、各施設が工夫して基礎研修を定着させる。また若者対策として、看護学校へ働きかける。そして、まず自分の友人・知人へ加入を働きかける。と施設・会員が具体的に取掛かれる対策が上がった。

西田病院 渡邊 恵梨菜

今回看護連盟リーダーセミナーに参加し、看護協会の行っている活動や、看護連盟について詳しく聞くことが出来、大変良かったと感じています。今年で看護師2年目、病棟連絡員半年目であり分からないことばかりでしたが、活動や仕組み、連盟の大切さを学ぶことが出来ました。正直今まで、議員さんがどのような活動をしているのか、これまでどのような活動をして今があるのか、今後どのような活動をしていこうとしているのかを知ろうともしておらず、「自分とは関係ない」という気持ちもどこかにあったと思います。今後は、病棟連絡員として一看護師として、看護連盟の知識を深め、情報発信していけたらと思います。今日学んだことを生かし、活動していきたいです。

平成28年度会員研修会

※平成27年度の会員研修が熊本・大分地震のため延期となったため、平成28年度リーダーセミナーに合わせて開催した。



日本看護連盟
会長 草間 朋子

日時：平成28年10月23日(日) 14:30~16:00
 会場：大分県看護研修会館 3F 大研修室
 参加者：184名(会員研修会・リーダーセミナー合同)
 特別講演

演題：「看護職の役割拡大」
 講師：日本看護連盟 会長 草間朋子



延期となっていた会長の講演を熱心に傾聴しました。

会員研修に参加して

大分県立看護科学大学 看護アセスメント学研究室 藤内 美保

日本看護連盟の草間朋子会長が、「看護職の役割拡大」のテーマで講演された。看護師の役割拡大においては、全国に先駆けて本学修士課程でNP教育をスタートし、「特定行為に係る看護師の研修制度」が制度化した。修了生は病院、在宅、老健などでチーム医療のキーパーソンとして日々研鑽している。平成28年度よりNP地域枠を設け定員を増加した。大分県の医療・看護に貢献できる人材育成に今後も努力していきたい。また保健師、助産師の役割拡大も、法的観点、質担保の観点から講演された。本学は、保健師教育(大学院教育は日本初)、助産師教育も大学院で行っており、その強みを活かし、改善・改革し挑戦する人材教育を今後も発展させていきたい。

大分赤十字病院 中嶋 綾香

今回の研修において、看護師は社会的には専門職と思われているにもかかわらず、労働基準法の中では、国が定める専門職として認知されていないことに驚きを感じました。私たち看護師は、この認識のズレを自覚し、看護師としての誇りが持てる職種として個々が自己研鑽に努め、チーム医療のキーパーソン足り得る存在になるために、特定看護師の育成など看護職の業務の拡大に努めていく必要があると思いました。

平成28年度県別会議



県別会議を終えて

日 時：平成28年11月24日(木) 13：30～15：30
 会 場：大分県看護研修会館 3F 「第4研修室」
 参加者：日本看護連盟 常任幹事 長沢 恵美子
 大分県看護連盟 役員・支部長・幹事長
 計26名



熱心に協議しました

第24回参議院選挙の総括について中間報告ではあるが、今回の選挙の結果は厳しい結果として受け止めなければならず、次回に向けた対応を早急に検討する必要があることが本部から伝えられた。大分県からは、大分県看護連盟の概要及び第24回参議院選挙の結果と

- 総括を報告した。選挙に対する主な協議事項としては、
- ①会員の投票率、特に若手の投票行動と投票率について、対象は限られた人数であるが、アンケートの結果を伝えた。
 - ②県看護協会と具体的な連携・支援については、会館内のポスター、候補者の研修生へのあいさつ、協会の総会時に出席者への依頼等連携を持てた。
 - ③支部 施設幹事 施設連絡員 病棟連絡員との連携と活動については、連携を取りながら選挙に臨んだが、会員まで思うように情報が伝わらない、看護管理者の協力が必要等、支部長から報告がなされた。
 - ④連盟本部及びたかがい議員への要望については、診療報酬に関して、処遇の改善、院内保育所と子育ての支援、書類や記録の簡素化等各施設から出された多くの要望を伝えた。
 - ⑤協会と連盟のあり方について、“車の両輪での活動”ではないか、医師会や他の職能のように一つの看護職能団体として一本化し、活動を役割分担することで他の組織に負けない投票行動が生まれるのではないかと役員からの意見もあった。

【支部研修会】 OB会支部会員研修会



鶴をモチーフにした折鶴アート 長濱晴子様作 (デコレーションケーキ)

日 時：平成28年11月9日(水) 13：20～15：00
 会 場：大分県看護研修会館 2F 「第2研修室」
 参加者：35名
 特別講演 演題：「重症筋無力症になって見つけた新たな生き方」
 ～看護は私の生き方そのもの～
 講師：長濱 晴子 長濱 直志 (日本バイオレジ協会)



ご主人と共に講演

病気になって多くの経験から得られた生き方についてお話をされたが、看護職として感動し感謝の気持ちになれた温かい講演だった。病気になってのメッセージ「心の目を養いなさい」「病気と共に感謝の段階を昇っている」「そして、真摯に生きる」これらの言葉を得て、夫直志氏と前向きにお互い支え合いながら生きている姿を見ることができ、参加者全員幸せな気持ちで傾聴した。



*** 自民党女性局九州ブロック会議に参加しました ***

日 時：平成28年10月30日(日)
 会 場：由布院 ことぶき 花の庄
 参加者：会長・副会長2名・名誉会員1名(計4名)



たかがい局長、穴見次長、自見次長等と意見交換

九州各県の自民党女性局の方が集結したが、他県では女性の地方議員が参加してうらやましく思えました。しかし看護職のたかがい議員が自民党女性局の局長であることは、わたくしたち看護連盟の一員として誇らしく思えました。(加峰マチ子名誉会員より)



自民党女性局長として
あいさつ

ポリナビワークショップ

「平成29年度九州ブロックポリナビワークショップin沖縄」が開催されます！



会場：ロワジールホテル那覇
日時：2017年5月27日(土) 13:30~17:00

テーマ つながる ひろがる 若手の力
~これから変わる看護のかたち~

基調講演 石田まさひろ参議院議員



今回は、開催が沖縄県であることもふまえ、沖縄県がアメリカ統治下であった戦後の看護を紹介し、これからの看護の未来を各県が語ります。日本の医療の課題や、解決のヒントとなる示唆が得られる集会となることを期待したいと沖縄県看護連盟青年部よりのメッセージが届いています。

ワークショップ「これからの未来への看護の創造」では、大分県看護連盟は、今まさに看護職の取り組んでいる推進課題である「地域包括ケアの動向」についてプレゼンテーションをします。

沖縄へ行くぞ!!



「出前ポリナビ」を予定しています!!

青年部Nurse-ful委員会

平成29年3月頃を目途に順次開催
青年部が大分県内の施設・看護学校等に出かけます。

目的 ①看護学生・若手看護師が、日本看護連盟の活動を理解する
②看護学生・若手看護師が、選挙・医療政策・政治に興味を持つ

対象 学生だけではなく、施設の会員に向けての基礎研修となることもあります。

*注 ポリナビとは・・・

「Politc Navigators'Network」の略です

若手看護職が中心となり、看護の未来を政治の側面から学び、創る活動をしています。



詳細については、
大分県看護連盟まで、お問い合わせください。



日本看護連盟の機関紙「アンフィニ」の紹介

年3回~4回発行

アンフィニとは

「N」はNurseのN、「∞」は2つの極の間で情報が往き来し、無限に世界が大きく広がっていくことを意味する記号です。看護は、無限大の実績と可能性をもっていますが、「アンフィニ」はその“無限大”を意味するフランス語です。



← 日本看護連盟の機関紙「アンフィニ」秋冬号2016~2017に大分県の活動が紹介されました!

★ポリナビ・ワークショップ・若手研修開催 (P46)
「九州ブロックポリナビワークショップin大分」

★わが看護連盟自慢 (P47)
「元気で。大分県看護連盟」



行事予定

研修会	日時	会場	内容
九州ブロックポリナビワーク ショップ in 沖縄	平成29年5月27日(土)	ロワジールホテル那覇	テーマ つながる ひろがる 若手の力 ~これから変わる看護のかたち~
日本看護連盟通常総会	平成29年6月15日(木)	東京プリンスホテル	
大分県看護連盟通常総会	平成29年6月25日(日)	大分県看護研修会館 3F「大研修室」	特別講演 テーマ：未定 講師：大島敏子先生

確かなものを、贈りたい。 Excellent Gift

ご贈答には、丸大食品の
ハム・ソーセージの
詰合せをどうぞ。



丸大食品株式会社
西日本特販営業課 九州

福岡県糟屋郡粕屋町大字内橋673-8

TEL 092-621-2121 FAX 092-621-2122

平成29年度連盟会員を 募集しています!!

平成29年度
会員目標 **3,600名**

連盟会費 年間**7,500円**

日本看護連盟
会費 5,000円

+

大分県看護連盟
会費 2,500円

= 年会費
7,500円



ベッドサイドから政治を変える!

特典

- ◆連盟主催の研修会に無料で参加できます。
- ◆機関紙「アソフィニ」の配布(年3回)や情報の配信
- ◆「れんめい大分」の配布

◆賛助会員 1,000円

◆学生会員 無料

★詳しくはホームページを
ご覧ください。

【お問い合わせ先】大分県看護連盟

〒870-0855 大分市豊鏡310番地の4 大分県看護研修会館

TEL (097) 574-7088 FAX (097) 574-7517

e-mail : oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

ご存知ですか? 東洋羽毛の無料コーヒーサービス

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会
研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での
休憩時にホッと一息つきませんか?

〔片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団をおかせて頂いております。ご購入にも応じます。〕



どんな所でも無料で出張サービスさせていただきます

東洋羽毛九州販売株式会社 熊本営業所

熊本市東区尾ノ上1-7-3

TEL 0120-382808

お気軽に御利用ください。



編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年は様々な思いを残した激動の年でした。たかがい恵美子先生を再度国会へ送り、活躍の場を確保できました。れんめい大分では看護職代表議員4人の活動・会員研修・会員の思いやご意見を取り上げて、分かりやすく皆様に愛される内容を目指してまいります。今年もよろしくお祈り致します。(広報委員会一同)

